



令和 6 年 9 月 11 日
内閣府政策統括官（防災担当）

令和 6 年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和 57 年 5 月 11 日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（総括担当）付 唐戸、中川、中村

電話：03-3593-2844（直）FAX：03-3503-5690

令和6年 防災功労者 内閣総理大臣表彰 受賞者名簿

○ 個人

〔防災体制の整備〕

京都大学防災研究所 教授

矢 守 克 也

(大阪府)

新潟大学危機管理本部危機管理センター 教授

田 村 圭 子

(新潟県)

川西町議会議員

伊 藤 彰 夫

(奈良県)

特定非営利活動法人 日本防災士会長崎県支部顧問

旭 芳 郎

(長崎県)

東京大学生産技術研究所 教授

中 埜 良 昭

(神奈川県)

長岡造形大学 地域協創センター長

福 本 壘

(新潟県)

和歌山県立熊野高等学校 教諭

上 村 桂

(和歌山県)

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構長

吉 田 秀 典

(香川県)

〔防災思想の普及〕

防災エキスパート、水防専門家

菅 原 信 雄

(秋田県)

○ 団体

〔防災体制の整備〕

日進ニュータウン地区自主防災会

(愛知県)

高松地区防災会

(和歌山県)

賀露地区自主防災会連絡協議会

(鳥取県)

内町自主防災会

(徳島県)

多賀城市防災主任者会

(宮城県)

与縄地区防災計画推進会

(山梨県)

三重県立北星高等学校

(三重県)

若松区東28区市民防災会

(福岡県)

〔防災思想の普及〕

石田地区自治会自主防災連合会	(栃木県)
渭北自主防災会連絡協議会	(徳島県)
北海道標津高等学校	(北海道)
中里まちづくり協議会	(岩手県)
戸越銀座商店街連合会	(東京都)
鳴門市	(徳島県)

〔災害現場での顕著な防災活動〕

(令和5年5月4日からの林野火災)

諏訪市消防団	(長野県)
茅野市消防団	(長野県)

(令和5年台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨)

豊川市消防団	(愛知県)
豊橋市消防団	(愛知県)
海南市消防団	(和歌山県)

(令和5年6月29日からの大雨)

美祢市消防団	(山口県)
久留米市消防団	(福岡県)
国立研究開発法人土木研究所緊急災害対策派遣隊	(茨城県)
国土交通省緊急災害対策派遣隊	(東京都)

(令和5年7月15日からの大雨)

秋田市消防団	(秋田県)
五城目町消防団	(秋田県)

以上 34件(9個人、25団体)

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 氏 名	やもり かつや 矢守 克也
住 所	大阪府豊中市
職 業	京都大学防災研究所 教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、防災教育、防災心理学の専門家として、我が国の安全で安心な社会づくりに向けて、専門的見地から災害時の住民避難行動や平時の地区防災計画づくりについて提言を行う等、防災・減災対策の充実に多大な貢献を果たした。</p> <p>また、災害時の学校現場や地域コミュニティにおける避難対策、平時の地区防災計画づくり等について、内閣府が設置する検討会等で委員を歴任し、提言・検証を行う等、我が国の防災・減災対策の充実に多大な貢献を果たした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 氏 名	たむら けいこ 田村 圭子
住 所	新潟県新潟市
職 業	新潟大学 危機管理本部危機管理センター 教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、新潟県防災会議の委員として、平成23年から現在に至るまで新潟県地域防災計画を始め、県の防災に関する重要事項について、その幅広い見識や災害現場での事例に基づき意見・助言をしている。</p> <p>また、災害時においては、県内外に関わらず、被災現場において直接、県や市町村に対して意見・助言を行い、被災者の早期の生活再建に向けて多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 氏 名	いとう あきお 伊藤 彰夫
住 所	奈良県磯城郡川西町
職 業	川西町議会議員
功 績 の 概 要	<p>氏は、自主防災組織相互の連携を密にし、充実・強化を目的として平成23年に「川西町自主防災組織連絡協議会」を設立した。</p> <p>設立当初から会長として、町全体の防災訓練や防災講習会を実施し、町民の防災意識の向上や防災士・防災リーダーの育成に尽力し、本町の防災力の向上に貢献した。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 氏 氏 名	あさひ よしろう 旭 芳郎
住 所	長崎県南島原市
職 業	特定非営利活動法人 日本防災士会長崎県支部顧問
功 績 の 概 要	<p>氏は、平成3年6月3日の「雲仙岳噴火災害」から災害ボランティアとして、「雲仙岳災害ボランティア協議会」を設立（翌年島原ボランティア協議会に改称）し、事務局長として協議会の運営で重責を担い、その後、2代目理事長として活動してきた。</p> <p>その後、阪神淡路大震災・北海道南西沖地震・東日本大震災・熊本地震・有珠山噴火災害等の全国の被災地25箇所、災害ボランティア先駆者として、ボランティアセンターの運営・支援活動で指導的役割を果たしている。</p> <p>また、日本防災士会長崎県支部設立にも関わり、初代の支部長を務めるとともに、併せて九州ブロック支部連絡協議会会長としても活動し、九州各県の防災士のスキルアップにも尽力した。</p> <p>地域防災啓発活動では、県や市町、県内諸団体からの要請を受けて、年間約50回の講演活動・ワークショップ、防災講座も指導し、防災思想の普及に貢献している。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	文 部 科 学 省
ふ り が な 氏 氏 名	なかの よしあき 中埜 良昭
住 所	神奈川県横浜市
職 業	東京大学生産技術研究所 教授
功 績 の 概 要	<p>氏は、主として建築物、とりわけ文教施設の耐震性能評価に関する広範な研究成果と知見並びに国内外の豊富な地震被害調査経験に基づき、平成7年兵庫県南部地震以降全国に展開された耐震診断、耐震改修計画における各種耐震判定活動、非構造部材の耐震化対策、耐力度調査手法の高度化などに取り組み良質な既存ストックの形成に貢献するとともに、地震発生後の二次災害の軽減や早期の復旧・復興のための技術資料整備や人的資源育成など技術支援体制の構築とその機動的活用により、学術研究のみならずそれらの社会実装を含む成果の普及と浸透を通じて実効的な防災体制の整備と実行に極めて大きく貢献した。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	文 部 科 学 省
ふ り が な 氏 氏 名	ふくもと るい 福本 塁
住 所	新潟県長岡市
職 業	長岡造形大学 地域協創センター長
功 績 の 概 要	<p>氏は、都市防災・都市計画・地域計画及びコミュニティデザインの専門家として、新潟県耐震改修促進計画改定検討委員会、長岡市洪水ハザードマップ作成委員会、村上市空き家等対策計画策定委員会等の委員長を歴任し、新潟県内の防災行政の貢献と地域防災力及び地域コミュニティの強化に尽力している。</p> <p>また、氏は、各地域において深刻化する防災訓練の高齢化問題に対し、防災コミュニケーションツール「防災トランプ」を開発し、防災について地域の人々が世代をこえて能動的に語り合い交流できる場づくりを実現した。参加者の内発的な自助・共助の防災意識をはぐくむ実践効果がみられ、各地域で感染症流行下においても場の運営が可能なモデルを構築、社会実装し、全国的な取組へと展開させ、住民主体の災害対応と、企業主体の災害対応の両軸から自助・共助を促進するコミュニティ強化と防災訓練の運営体制の整備・参加促進に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	文 部 科 学 省
ふ り が な 氏 名	う え む ら かつら 上 村 桂
住 所	和 歌 山 県 田 辺 市
職 業	和 歌 山 県 立 熊 野 高 等 学 校 教 諭
功 績 の 概 要	<p>氏は、平成23年の台風第12号による紀伊半島大水害に際し、当時3年生だった教え子を亡くすという経験をした。その経験をきっかけに、この災害の教訓を生かそうと「Kumanoサポーターズリーダー」部顧問（平成24年～現在）として教育活動に取り組み、地域の防災の担い手となる高校生の育成及び地域の防災力向上に貢献した。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

推 薦 者	文 部 科 学 省
ふ り が な 氏 名	よしだ ひでのり 吉田 秀典
住 所	香川県木田郡三木町
職 業	香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構長
功 績 の 概 要	<p>氏は、香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構の機構長を7年間務め、その間、危機管理先端教育研究として、防災・減災・危機管理に資する教育研究拠点機能の形成と様々な危機に的確に対処するための先端教育プログラムの開発、並びに高度な人材育成を通じてグローバルに活躍できるレジリエンスサイエンスリーダーの育成を、また、地域強靱化研究として、防災・減災・危機管理に関する地域連携の推進、並びに四国の防災・減災拠点としての機能強化を行った。</p>

功 績 概 要

個人 [防災思想の普及]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 氏 氏 名	すがわらのぶお 菅原 信雄
住 所	秋田県大仙市
職 業	防災エキスパート、水防専門家
功 績 の 概 要	<p>氏は、旧建設省東北地方建設局及び国土交通省東北地方整備局での河川防災技術を活かし、平成19年より防災エキスパート、平成24年より水防専門家として、青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島県内を中心に、10年以上にわたり水防管理団体及び水防団等への水防工法の指導等を行ってきた。</p> <p>防災エキスパートとしては、平成25年7月洪水や平成29年7月洪水において、被害調査、水防工法の必要性や応急対策に関する助言等を行った。また、地方整備局・県主催の水防技術講習会において、東北各県の水防管理団体及び水防団等に対し水防工法の指導を行った。</p> <p>水防専門家としては、東北水防技術競技大会の審査員や、水防管理団体主催の水防講習会や水防訓練で水防工法の指導を行った。</p> <p>これらの活動により、防災思想の普及に当たり、大きな貢献を果たした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	にっしんにゅーたうんちくじしゅぼうさいかい 日進ニュータウン地区自主防災会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>おさかべ</small> 刑部 <small>かつゆき</small> 雄幸
功 績 の 概 要	<p>日進ニュータウン地区自主防災会は、三本木区に属する日進ニュータウン自治会の自主防災組織として設立後、10年以上地域のために積極的に活動を行っている。</p> <p>日進ニュータウン地区の地形特性や、地震時には家屋の倒壊や火災の発生も懸念されることから、令和3年度に、地区防災計画として「日進ニュータウン自治会自主防災マニュアル」を策定した。同マニュアルには、発災時における組織の役割を明確に示しており、伝達方法、被害状況等を正確かつ迅速に把握し適切な対応を行えるように整備されている。マニュアルは地区内全戸配布されており、現在は策定したマニュアルを用いた防災訓練を実施し、地域防災力の向上に努めることとしている。</p> <p>令和5年度の自主防災訓練では、災害発生時の対応訓練に加え、愛知県スマートシティモデル事業の採択を受け市が実施した災害時のドローン物流実証実験に協力し、ドローンによるAEDや非常食等の運搬を防災訓練の中で体験し、防災DXの活用について知識、理解を深めることとなった。</p> <p>これらのマニュアル等の整備状況や訓練の実施は、他の模範と認められる自主防災組織の組織体制であると認められるものである。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	たかまつちくぼうさいかい 高松地区防災会
所 在 地	和歌山県和歌山市
代 表 者 (団体での職名)	会長 いしい たろう 石井 太郎
功 績 の 概 要	<p>高松地区防災会は、自主的な防災活動を行い、災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的として平成12年に発足し、継続的に地区における防災体制の整備に取り組んでいる。</p> <p>同防災会は、地区内の小学校で毎年大規模な防災訓練を実施し、小学校との連携を深めるだけでなく、令和5年に実施した防災訓練では、消防分団の協力によりホース延長訓練を取り入れるなど、地区における他の関係機関との連携を見据えたものとなっている。</p> <p>また、地域の実情を踏まえた高松地区防災計画を策定し、計画に基づく防災訓練を実践するだけでなく、その訓練の検証結果を基に計画の見直しを行い、災害による被害の防止及び軽減に貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	かろちくじしゅぼうさいかいれんらくきょうぎかい 賀露地区自主防災会連絡協議会
所 在 地	鳥取県鳥取市
代 表 者 (団体での職名)	会長 あいしま としみ 芥島 寿美
功 績 の 概 要	<p>賀露地区自主防災会連絡協議会は、賀露地区11区の自主防災会（町内会）及び防災リーダー、避難所開設担当者などが中心となり、安否確認の訓練や、避難所マニュアルの共有及び避難所開設訓練に係る防災研修等の活動を毎年継続して行っており、地域における防災意識の向上に尽力している。中でも、全世帯を対象とした地区内一斉の安否確認訓練では、各自主防災会（町内会）がその地域特色等に適したテーマを設定し、継続して毎年訓練等を行っていることから、地域住民の結びつきを強化し、自助・共助の意識の向上に繋がっている。</p> <p>また、令和6年4月、賀露町自治会として鳥取市及びNHK鳥取と大規模災害時に賀露地区公民館を一時的にNHKの拠点とする覚書を締結し、災害時の住民への情報発信にも協力している。その他、防災用トイレ等の防災資機材を整備する等、同協議会は地域防災力の向上に努め、地域の防災体制の整備に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	うちまちじしゅぼうさいかい 内町自主防災会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>はまぐち</small> 濱口 <small>やすのり</small> 靖徳
功 績 の 概 要	<p>内町自主防災会は、学校、コミュニティセンター及び消防団等の各種団体と連携し、避難場所の確保や避難経路の調査など、地域に根ざした防災活動を実施し、地域一丸となった協力体制を確立している。</p> <p>さらに、平成13年に独自で内町地区避難マップを完成させたほか、平成26年には地震・津波避難支援マップの作成にも積極的に取り組み、自らが一時避難する場所を建物所有者に対して協力依頼し津波避難ビルを確保している。</p> <p>このような長年にわたる活動は、南海トラフ地震等の大規模災害が発生した場合の被害軽減に努めるなど、防災体制の整備に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	たがじょうしぼうさいしゅにんしゃかい 多賀城市防災主任者会
所 在 地	宮城県多賀城市
代 表 者 (団体での職名)	安全担当主幹教諭 ちば こういち 千葉 浩一
功 績 の 概 要	<p>多賀城市防災主任者会は、平成24年4月から、多賀城市内の小学校6校と中学校4校の安全担当主幹教諭、防災主任合計12名と、多賀城市内の公立・私立高等学校3校の防災担当職員で構成される任意団体であり、年間4回程度の定例会において課題として、多賀城市避難所管理マニュアルについての意見・要望の協議と提案、多賀城市版「みんなの防災手帳」に関する学校での活用方法についての提案、東北大学災害科学国際研究所との共同防災授業実践研修、多賀城市防災教育副読本(資料集)の編集(宮城県防災教育副読本の活用を含む)などを課題として協議し、各学校の防災に関する活動等に取り組んでいる。</p> <p>12年間継続して、他校とチームを組み、情報や考え方を多面的な観点から交流しながら各学校の具体的な施策や教育を主体的に考え、取り組んでいく活動を進めてきたことは、学校組織の中で、防災意識を維持し、現状に応じた主体的な防災教育を持続する上で大きな意義があった。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	よなわちくぼうさいけいかくすいしんかい 与縄地区防災計画推進会
所 在 地	山梨県都留市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>うすい ひさ</small> 臼井 久
功 績 の 概 要	<p>与縄地区防災計画推進会は、市の指定する避難所（与縄営農指導センター避難所）に集まる三つの自主防災会（上手・日向・日影自主防災会）に属する約 470名の住民により構成されている自主防災組織である。</p> <p>同推進会は、「一人の犠牲者も出さないために」ということを第一の目標とし、そのためにはどんな事から取り組めばよいのかという観点から、地域の住民の皆さんと行う毎年の防災訓練のあり方を見直し、市の防災担当者や健康科学大学で災害看護を学ぶ先生や学生さんの協力をいただきながら、興味を持って参加してもらえるような防災訓練を行うことから始めている。</p> <p>訓練を軸にして、意識啓発をはかり防災力向上を目指しているが、その訓練が持続的に繰り返されていること、避難訓練やトリアージ訓練さらには被災地確認訓練など多様な訓練を展開していること、ドローンやトランシーバーなどの高度な技術を積極的に取り入れていること、DMAT を含む多様な専門家や防災機関と連携していること、向こう三軒の安否確認や避難所での名簿づくりなどの地域防災の基本を押さえていること、そして何よりも地域ぐるみの高い参加率を実現していることが、高い評価に値する。訓練には、市役所はもとより消防署や警察署さらには近隣の大学や病院などが参加しており、公助と一体となった共助や近助のあり方が示されている。</p> <p>また、緊急連絡に LINE をつかったY アラート（与縄防災情報）が活用されており、地域でのDX防災への挑戦を見ることが出来る。こうした取り組みにより、過疎地のハンディを乗り越えた「誰一人取り残さない防災」が実現されており、孤立集落の課題解消を図っている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	みえけんりつほくせいこうとうがっこう 三重県立北星高等学校
所 在 地	三重県四日市市
代 表 者 (団体での職名)	校長 <small>なかむら あきひさ</small> 中村 晃久
功 績 の 概 要	<p>三重県立北星高等学校は、これまで10年以上に渡り地元四日市市富田地区連合自主防災隊との合同防災訓練を実施してきた。コロナ禍の工夫として令和4年度には、避難先の高台までの避難イメージ動画を教職員が作成し、生徒・地域住民が視聴し、避難のイメージを身に着けた。</p> <p>令和5年度からは、地域の高齢者や介護を必要とする要支援者を意識し、リヤカーや車椅子で高校生が運ぶ「要支援者を意識した合同避難訓練」を実施するとともに、高台への避難の意識を日常的に持つために、高台方向を示す「命の矢印」シールを同校ボランティア同好会が作成、地域住民に配布した。訓練には同校定時制の生徒約300名、職員30名、地域住民約50名が参加。定時制の授業時間（昼間部午前、昼間部午後、夜間部）に合わせ、3回避難訓練を実施した。</p> <p>令和6年度は、避難先の高台で高校生が参加した地域住民全員に「命の矢印」を渡し、お互いの訓練についての意見交換を行った。また、地域の高齢者に加えて、地元幼稚園児をリヤカーに乗せるなど取組を発展させている。訓練には同校定時制の生徒約300名、職員35名、地域住民約100名が参加。令和6年度も定時制の授業時間に合わせ、3回避難訓練を実施した。</p> <p>令和5年度の合同訓練では、訓練に参加した生徒の81%が「防災意識が高まった。」と回答し、令和6年度は、訓練に参加した生徒の91.8%が「防災意識が高まった。」と回答するなど、災害時に必要な共助の意識の育成や防災を「自分事」にする意識の向上につながるなど大きな成果を挙げている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	わかまつくひがしにじゅうはちく しみんぼうさいかい 若松区東28区市民防災会
所 在 地	福岡県北九州市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>ふるかわ ゆうこ</small> 古川 裕子
功 績 の 概 要	<p>若松区東28区市民防災会は、高齢化が進んだ地域で一人の犠牲者も出さない防災体制を構築するため、地域住民の声を生かして、同会の会長と公民館長(北九州市みんなde Bousaiファシリテーター)を中心に「地域住民の力」で、地区の「高齢化」及び「多様性」に配慮した防災体制を日々進化させている。</p> <p>平成25年に「土砂災害警戒区域」等の住民向け説明会及び災害図上訓練の実施を皮切りに、平成28年、同会の会長含む6名で「畠田防災実行委員会」を立上げ、畠田地区独自の防災訓練に着手した。</p> <p>毎年出水期前に防災訓練を実施している。訓練だけでなく、訓練前に事前研修を行い、訓練の後は住民の誰もが参加できる「市民防災会議」を開き、訓練を振り返り、より実態に即した効果的な訓練にするため、住民同士の意見交換をする。その意見をもとに次年度以降の防災体制を決定するというPDCAサイクルを構築した。</p> <p>日頃から地域住民が顔の見える関係をつくる地域活動の中で、電話や声掛けで高齢者や障害を持った方にも確実に避難情報がいきわたる「畠田緊急ネットワーク」を構築した。また、近隣に住む3～8世帯でグループを作り、グループで逃げる避難訓練を目指している。令和6年度からは、「ペット防災」にも取り組み始めた。</p> <p>また、コロナ禍においても「訓練シート(書面訓練)」や「畠田緊急ネットワーク」を活用した情報伝達訓練により、対面せずに訓練を継続してきた。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	いしたちくじちかいじしゅぼうさいれんごうかい 石田地区自治会自主防災連合会
所 在 地	栃木県河内郡上三川町
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>おおしま つねゆき</small> 大島 常行
功 績 の 概 要	<p>石田地区自治会自主防災連合会は、令和元年の台風19号の対応において、同連合会の防災リーダー6名（うち防災士5名）が避難所へ出向き受付手伝いや避難者の混乱を低減するため、避難所内における避難者の誘導を実施した。</p> <p>また、避難所付近が停電した際には、自主防災組織で備蓄していたランタンや投光器設置、防寒対策のためストーブの設置を行うなど徹夜で避難所の運営サポートに従事した結果、避難者のストレス軽減に繋がるなど、避難所生活を少しでも快適に過ごせる環境の整備に取り組んだ。この体験をきっかけに防災に対する機運がより一層高まり、災害時にスムーズに避難誘導を実行するためには、平日頃から当対象地区における避難所の使用可能なスペースを事前に把握する重要性を感じ、小学校及び町に協力を呼びかけ、避難可能スペースの情報共有を図った。</p> <p>防災士の資格取得や、防災関連機関主催の行事への積極的な参加、町内外を問わず各種研修会等へとちぎ地域防災アドバイザー、防災士メンバーの派遣等を実施している。</p> <p>また、自主的な防災訓練の実施や被災地等への視察研修を実施しており、東日本大震災の被災地を視察した際に、地域防災力強化のため、地区防災計画に基づき災害時の住民に対する啓発活動の重要性を痛感するとともに、防災士としての自己啓発に努力する必要性を感じ、同連合会としてこれからも防災・減災への取り組みを継続していくことの大切さを認識した。その他、地域の大学とも協力体制を図り若い世代へ災害時の経験や日頃の活動を伝えている。</p> <p>このように、同連合会は、近年甚大化する風水害や地震、その他の災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的とし、地域防災の発展に貢献している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	内 閣 府
ふ り が な 名 称	いほくじしゅぼうさいかいはれんらくきょうぎかい 渭北自主防災会連絡協議会
所 在 地	徳島県徳島市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>かとう としのぶ</small> 加藤 利宣
功 績 の 概 要	<p>渭北自主防災会連絡協議会は、結成当初から現在に至るまで会長が地域の防災リーダーとして、遺憾なくリーダーシップを発揮して、訓練や研修会を行っている。地区を区分けし1区から10区までの地区で連携し市内で最初に連絡協議会を結成した。</p> <p>連絡協議会結成後は、連絡協議会で研修会や訓練を行うことが多く、平時から学校や事業所、地元消防分団と連携を図り、地域の防災力向上に熱心に取り組んでいる。</p> <p>このように長年にわたる活動は、誠に顕著であり、他の模範とするところである。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ほっかいどうしべつこうとうがっこう 北海道標津高等学校
所 在 地	北海道標津郡標津町
代 表 者 (団体での職名)	校長 <small>わたなべ</small> 渡辺 <small>みきお</small> 幹夫
功 績 の 概 要	<p>北海道標津高校は、高校生が主に津波による被災地を実際に視察し、自らが避難の重要性や、災害伝承の重要性を認識したうえで、小中高生へのオリジナルHUG（避難所運営ゲーム）の作成やその実施、被災地研修報告会でのプレゼン、未就学児童への防災クイズなどの活動を実施してきた。これらの活動を通じて主に若年層の防災意識向上に大きく貢献しており、この活動を継続することで町全体への防災意識の浸透が期待される。さらに、住民参加のリアルHUGや町の総合防災訓練の企画へ協力するなど若年層以外への防災意識向上への貢献度も非常に高い。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	なかさとまちづくりきょうぎかい 中里まちづくり協議会
所 在 地	岩手県一関市
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>おの</small> 小野寺 <small>かずお</small> 和雄
功 績 の 概 要	<p>中里まちづくり協議会は、「ひとが輝き・地域が輝くまちづくり」を基本理念とした中里まちづくり計画のもと、自主防災組織をはじめとする各構成団体と連携しながら、防災マップ作成や防災訓練など、様々な防災活動を展開することにより、地域コミュニティの活性化に寄与している。</p> <p>また、コロナ禍においても感染症予防に配慮した防災活動を継続しており、令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震で同協議会の活動拠点である中里市民センターが被災した状況の中でも、創意工夫しながら、地区住民の防災意識の高揚に尽力している。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	とごしぎんざしょうてんがいれんごうかい 戸越銀座商店街連合会
所 在 地	東京都品川区
代 表 者 (団体での職名)	会長 <small>やまむら</small> としお 山村 俊雄
功 績 の 概 要	<p>戸越銀座商店街連合会は、コロナ禍を契機に、商店街が長く続けてきたお祭りを「まちなか防災訓練」として商店街が持つネットワークと場を活用した防災イベントに切り替え、地域が一体となって防災意識向上へつながる機会を創出するとともに、産官学連携を推進した。関係者数は2年で約3倍に増えたほか、幅広い世代の参加を得ることに成功した。また、イベント参加者向けアンケートでは、他エリアに居住する人より地域住民の方が防災意識が高いという結果も得られ、地域の防災力向上に多大なる貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	なるとし 鳴門市
所 在 地	徳島県鳴門市
代 表 者 (団体での職名)	市長 <small>いづみ みちひこ</small> 泉 理彦
功 績 の 概 要	<p>鳴門市は、災害を特別なものにとらえず、日常時（いつも）と災害時（もしも）の枠を超えて、日常にも役に立つ「フェーズフリー」の概念を平成30年2月に全国自治体で初めて地域防災計画に盛り込み、ハード・ソフトの両面からフェーズフリーの考え方を取り入れたまちづくりを展開している。成果としては、これまで、高齢者の参加がほとんどであった防災訓練など防災イベントに防災にあまり関心を示さなかった女性や子どもも参加するようになるなど、女性や子どもの防災意識が高まった。また、誰もが防災を「特別な」「非日常的」なものにとらえず、楽しく、アイデアを出し合うことで「身近な」「自分事」として捉えられるようになった。減災や防災という一面だけではなく、まちの賑わいづくりや多世代交流の活性化等にもつながっている。</p> <p>さらに、本年5月7日に整備した市役所新庁舎では、免震構造をはじめ、最大クラスの津波が発生したとしても機能を維持できるようになっている。併せて、令和6年度の組織体制においても、危機管理課を危機管理局に格上げし、市長直下の組織に改編し、機能強化を図った。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	すわししょうぼうだん 諏訪市消防団
所 在 地	長野県諏訪市
代 表 者 (団体での職名)	団長 小池 敏彦 こいけ としひこ
功 績 の 概 要	<p>諏訪市消防団は、令和5年5月4日から5日にかけて長野県諏訪市と茅野市にまたがる霧ヶ峰高原のガボッチョ山で発生した林野火災に際し、地元分団を出動させるとともに、火災規模を早期に把握を行い市内全分団に出動を指示し、大型連休中にもかかわらず多数の団員により遊歩道内、原野を背負式消火水のうやスコップ等を持ち、尾根の昇り下りしながら往復約3.5kmの消火活動と防火帯の形成を行い、ガボッチョ山西側への延焼防止に大きく貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	ちのししょうぼうだん 茅野市消防団
所 在 地	長野県茅野市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>かさい</small> 河西 <small>ちよみ</small> 千代美
功 績 の 概 要	茅野市消防団は、令和5年5月4日13時頃茅野市米沢地籍（霧ヶ峰高原）で発生した林野火災に際し、翌日の鎮火に至るまで、消火活動の他、観光客や地元住民の避難誘導や、夜間の警戒活動、残火処理まで積極的な活動に従事した。

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	とよかわししょうぼうだん 豊川市消防団
所 在 地	愛知県豊川市
代 表 者 (団体での職名)	団長 やまもと りゅうじ 山本 竜司
功 績 の 概 要	豊川市消防団は、令和5年台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨に際し、令和5年6月2日から6月3日にかけて、延べ337名が出動し、河川等の警戒巡視、積み土のう工の実施、住民の避難誘導、人命救助等の水防活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	とよはししょうぼうだん 豊橋市消防団
所 在 地	愛知県豊橋市
代 表 者 (団体での職名)	団長 まつもと けいいち 松本 敬一
功 績 の 概 要	豊橋市消防団は、令和5年台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨に際し、令和5年6月2日から6月3日にかけて、延べ1,264名が出動し、河川等の警戒巡視、住民の避難誘導等の水防活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	かいなんししょうぼうだん 海南市消防団
所 在 地	和歌山県海南市
代 表 者 (団体での職名)	団長 おかむろ たかあき 岡室 孝明
功 績 の 概 要	海南市消防団は、令和5年台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨に際し、令和5年6月2日に延べ260名が出動し、河川等の警戒巡視、積み土のう工の実施、排水活動、住民の避難誘導等の水防活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁
ふ り が な 名 称	みねししょうぼうだん 美祢市消防団
所 在 地	山口県美祢市
代 表 者 (団体での職名)	団長 <small>やなせ しゅんじ</small> 柳瀬 俊二
功 績 の 概 要	<p>令和5年6月29日から降り続いた大雨により、6月30日の夜から美祢市内全域で土砂崩れや冠水等の災害が発生した。</p> <p>美祢市消防団は、機庫待機し災害に備えていた消防団員が避難誘導、安否確認、救助等迅速に対応し被害を最小限に抑えた。また、大雨後には、土砂の除去、被害拡大をさせないための土のう設営、災害ごみの収集、運搬等を行い被災者が一刻も早く元の生活が取り戻せるよう努めた。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	消 防 庁 ・ 国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	くるめししょうぼうだん 久留米市消防団
所 在 地	福岡県久留米市
代 表 者 (団体での職名)	団長 こが せいいち 古賀 誠一
功 績 の 概 要	<p>令和5年6月29日からの大雨に際し、久留米市において、7月7日に降り始めた雨は、大気の状態が不安定な状況が長期的に続いたことで記録的な大雨となり、市内各地で住宅、道路等への浸水害の被害が多発した。</p> <p>久留米市消防団は、8日から7日間にわたり、延べ1,760人が出動し、広報活動をはじめ、ボートによる救助活動や、土のう積みによる小河川の越水防止及び屋内への浸水防止を実施した。</p> <p>10日には、道路冠水により避難できない地域住民28名をボートによる救助活動を行い、特に、田主丸町竹野地区では大規模な土石流が発生したことから、危険に晒されながらも近隣住民への避難誘導を行った。</p> <p>今回の災害では、日頃の水防意識の高揚と相まって、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こくりつけんきゅうかいはつほうじんどぼくけんきゅうじょきんきゅうさいがいたいさくはけんたい 国立研究開発法人 土木研究所緊急災害対策派遣隊
所 在 地	茨城県つくば市
代 表 者 (団体での職名)	上席研究員 伊藤 誠記 いとう もとき
功 績 の 概 要	国立研究開発法人 土木研究所緊急災害対策派遣隊は、令和5年6月29日からの大雨に対応するために、3日間にわたり、延べ5名の専門家を派遣し、橋梁損傷及び土石流発生箇所への復旧検討に係る高度な技術指導を実施し、被災地の早期復旧に大きく貢献した。

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	こくどうつうしょうきんきゅうさいがいたいさくはけんたい 国土交通省緊急災害対策派遣隊
所 在 地	東京都千代田区
代 表 者 (団体での職名)	隊長 <small>いまだ かずのり</small> 今田 一典
功 績 の 概 要	<p>国土交通省緊急災害対策派遣隊は、令和5年6月29日からの大雨による災害に際し、令和5年6月29日から7月27日の約1ヶ月にわたり、被災地へのべ1,006名を派遣し、北海道、北陸、中国、四国、九州地方における地方公共団体の被災状況調査や、排水ポンプ車による浸水排除や、給水活動支援を実施するなど、被災地の復旧に向けて多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	あきたししょうぼうだん 秋田市消防団
所 在 地	秋田県秋田市
代 表 者 (団体での職名)	団長 くらた よしひろ 倉田 芳浩
功 績 の 概 要	秋田市消防団は、令和5年7月15日からの大雨に際し、令和5年7月15日から7月19日にかけて、延べ622名が出動し、河川等の警戒巡視、積み土のう工の実施、排水活動、住民の避難誘導、人命救助等の水防活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。

功 績 概 要

団体 [災害時の防災活動]

推 薦 者	国 土 交 通 省
ふ り が な 名 称	ごじょうめまちしょうぼうだん 五城目町消防団
所 在 地	秋田県南秋田郡五城目町
代 表 者 (団体での職名)	団長 ちば よえもん 千葉 與右エ門
功 績 の 概 要	五城目町消防団は、令和5年7月15日からの大雨に際し、令和5年7月15日から7月16日にかけて、延べ72名が出動し、河川等の警戒巡視、積み土のう工の実施、住民の避難誘導等の水防活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。